

関東連盟新聞 第14号!

学生委員が選ぶ!

関東大会 印象に残った試合

優勝：明治大学(東京六大学) 準優勝：立教大学(東京六大学) 3位：中央大学(東都1部)

○決勝戦 明治 2-0 立教

東京六大学リーグ同士となった決勝戦は、5回まで0-0の拮抗した展開が続く。6回、一死一・三塁の場面でスクイズが決まり、明治大学が1点を先制する。追いつきたい立教大学はチャンスを作るもあと一本が出ず、2-0で明治大学が勝利した。



…学生委員のコメント

- ・関東優勝を目指した両者一步も譲らぬ決死の戦いが印象に残っています!
- ・決勝戦にふさわしい投手戦で、チャンスを作る度にドキドキしました!

○3位決定戦 中央 8-2 専修

決勝戦と同様、3位決定戦も東都リーグ1部同士の試合。前回王者の中央大学は初回連打と失策が絡み1点を先制する。4回にも走者一・二塁から長打が炸裂、勝負強さをみせる。追う専修大学も、何度も得点圏に走者を置くが、中央大学の先発 萬谷大輝投手が9回完投の好投をみせ、中央大学が勝利した。



…学生委員のコメント

- ・ノーシードから準決勝まで勝ち進んできた勢いのある専修大学と前回王者の中央大学という同じリーグ同士の負けられない戦いはとても迫力がありました!

○4回戦 慶應義塾 6-7x 専修

慶應義塾大学は2回、失策と安打が絡み2点を先制する。しかしその裏、専修大学は1点を返し、点差を縮める。7回には専修大学が一挙4点を獲得し点差を離すも9回に慶應義塾大学が同点に追いつきタイブレークへ。1点差で迎えた10回裏、専修大学がサヨナラ勝ちでシーソーゲームを勝ち切った。



…学生委員のコメント

- ・最後までどちらが勝つか分からない、まさに死闘でした。
- ・互いの意地がぶつかりあう試合で、専修大学のサヨナラ勝ちが印象的でした!

○3回戦 法政II部 5-6x 日本体育

3回戦は東都リーグ同士の対決となった。法政大学II部は初回到1点を先制、4回にも追加点を奪い点差を突き放す。しかし、日本体育大学は後半から追い上げを見せる。2点差で迎えた9回裏、先頭打者の出塁を皮切りに、3得点の猛攻をみせ、日本体育大学がサヨナラ勝ちを収めた。



…学生委員のコメント

- ・日本体育大学が9回裏2点差を一気に逆転し、サヨナラ勝ちしたから。
- ・後半戦に強い日本体育大学を象徴した試合でした!

○3回戦 茨城・横浜薬科・帝京宇都宮 11-12x 駒澤

この試合はまさに打撃戦そのものだった。初回、駒澤大学が2点を先制。その後も長打を量産し、得点を重ねる。対する合同チームも、チャンスが無駄にしない繋ぐバッティングで試合はタイブレークへ。10回表の合同チームの攻撃を無失点で切り抜け勢いをつけた駒澤大学がサヨナラ勝利を飾った。



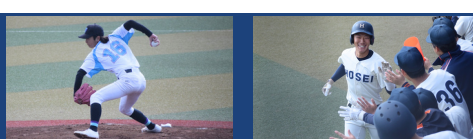
…学生委員のコメント

- ・お互いに攻めの試合で、11-12と競った試合展開が見ていて面白かったから!
- ・今大会唯一の合同チームが1回戦から勝ち進みこの試合も接戦で印象深かったから。

この一番試合票が多かったのは

○4回戦 筑波 4 - 2 法政

前回準優勝の法政大学とベスト8の筑波大学というハイレベルな戦いは、初回、筑波大学が先制する。その裏法政大学も1点を返し、試合を振り出しに戻す。筑波大学は6回、連打で3点を奪い点差を突き放す。追う法政大学はチャンスを作るも、筑波大学の先発山崎勇斗投手が好投し、筑波大学が勝利した。



学生委員のコメント

・筑波大学のチーム力が前回準優勝の法政大学を上回り勝利して、野球の面白さ・怖さが出た試合だったから！

○1回戦 都留文科 8 - 9 日本大学医学部

新関東リーグ1部同士の試合は、1回戦から熾烈な争いとなった。両チームとも安打を量産し、強力な打撃と積極的な走塁で得点を重ねる。試合が決まったのは8回裏日大医学部の攻撃、1点差から1イニング5安打の猛攻をみせ逆転に成功する。勢いをつけた日大医学部は9回表の守備を無失点に抑え勝利した。



学生委員のコメント

・点の取り合いで最後までどちらが勝つかわからない試合展開が、見ていてとてもワクワクハラハラしました！

○2回戦 高崎経済 10 - 9 横浜国立

高崎経済大学は2回、失策と安打が絡み4点を先制する。その後も多くのチャンスを作り、5回までに8点を獲得し8-4と相手に差をつける。追う横浜国立大学は7回、先頭打者の安打を皮切りに連打で5点を獲得し逆転に成功する。しかし高崎経済大学が8回、意地の攻撃で2点を奪い逆転、そのまま逃げ切り勝利した。



学生委員のコメント

・取られたら取り返す、両チームチャンスを逃さない攻撃的な打線で、最後まで見ていて面白かったからです！

学生委員インタビュー

01 Q. 学生委員になった理由

A. 準硬式野球という広い世界で野球を楽しむ全ての人に今よりもっと野球を楽しんで欲しい、楽しんでもらうために、運営や広報の面から支持できる存在になりたいと思ったからです。



小島 煌里 (新3年・北里大学)

02 Q. 準硬式野球にしかない魅力を教えてください！

A. 準硬式野球の魅力は学生主体であることだと思います！準硬式野球ではチーム運営や大会運営は主に学生が行います。プレーヤーと大会運営のようなマネージャー的な活動のどちらも経験することができます！



小林 元弘 (新3年・東京大学)

03 Q. 今後準硬式野球をどのように発展させていきたいですか？

A. 準硬式野球を「硬式の下位互換」ではなく、独自の魅力を持つ競技として広めたいです。硬式並みのスピード感や戦術性がありながら、学生が続けやすい環境が整っているのが準硬の強みだと感じています。その強みを生かしたアピールで競技人口の増加につなげたいです。



鈴木 丈翔 (新3年・宇都宮大学)

栃木市杯

第5回栃木さくらカップ2025

3月22日(土)、23日(日)に行われたさくらカップに関東準硬式レディースが出場しました！

1回戦 vs 福井工業大学

33 - 0

交流戦 vs 日本大学国際関係学部

0 - 15

交流戦 vs 仙台大学

0 - 10



コーチとして参加した学生委員に話を聞きました！

伊藤 大志郎 (新4年・宇都宮大学)

今年からフリーの部への参加となったことやケガ人の続出もあり、3試合ともに厳しい展開となった。ただどれだけ点差が開いても、ミスが続いても選手たちは決して下を向かず、互いに励まし合いながら最後まで挑戦し続けていた。野球ができる喜びを全身で表現する選手たちにコーチである私の方が教わるが多かった。このような貴重な経験をさせてもらったので、選手たちや他の学生委員に感謝したい。